



# 野木小だより

令和3年9月3日

第5号

野木町立野木小学校

## 2学期が始まりました

42日間の夏休みが終わり、9月1日より2学期が始まりました。コロナウイルスの感染拡大が続いている状況のため、始業式は体育館で行わず、Zoomを使い、話す人は放送室から、聞く人は各教室で聞きました。9月12日までは、授業時間を短縮して、対応していきます。夏休み中は、外出がなかなかできなかったかもしれませんが、オリンピック・パラリンピックのテレビ中継を楽しんだ人は多かったのではないのでしょうか。夏休みの課題も全部提出できたようでいいスタートが切れたと思います。2学期は、実りの秋でもあります。たくさん収穫できる学期にしましょう。

## 共同訪問がありました



7月8日(木)栃木県教育委員会下都賀教育事務所と野木町教育委員会事務局による共同訪問がありました。共同訪問とは、5～6年に1度あり、本校は平成27年度以来の訪問でした。教育事務所長様からは、「本校ならではの教育活動を確認します」とお話しがありました。町教育長様からは「不易と流行がある。教員は、子どもたちのために指導方法を研修するのが仕事である」というお話しをいただきました。いろい

ろご指導をいただきましたので、日ごろの指導を振り返り、明日からの指導に生かしていくことを考えていきたいと思えます。

## 若狭町立野木小学校との交流

今回の交流は、若狭町立野木小学校の5年生から「自然教室新聞」が送られてきました。7月6・7日に自然教室があり、その学習をまとめた新聞です。新聞によりますと、体験学習は、磯観察、流木アート、カレー作り、キャンプファイヤー、勾玉作りなどです。楽しそうな記事がたくさんありました。

先日、NHK総合テレビで『世界四大化計画～Mr.ザッハトルテの野望～』の中で、水月湖(すいげつこ)や年縞(ねんこう)が紹介されました。水月湖という湖が若狭町と美浜町にかけてあります。三方五湖のひとつです。5つのうちの最も大きな湖「水月湖」の底には、何層にも重なったシマ(縞)模様の堆積物が厚さ73m以上もたまっています。そのシマ模様は白い層と黒い層が交互に重なってできており、一対で1年分を示しています。この様子を「年縞」(木にたとえると年輪)といい、水月湖の年縞は、7万年もの長い期間にわたり、大きくかき乱されることもなく、安定して積み重なっています。その年縞を展示した福井県年縞博物館が2018年に開館したそうです。水月湖から掘り出した年縞の実物45m(7万年分)を、スタンドグラスにして展示します。コロナが終息したらぜひ見に行きたいものです。

## 校内いじめ撲滅会議がありました

7月16日(金)に校内いじめ撲滅会議が行われました。今回は、3密を避けるために、6年生が2～3人グループになり、各グループが1～5年生のクラスに行き、いじめの定義、いじめO×クイズを行いました。放送による呼びかけも6年生が担当し、全児童が同じ内容を聞くことができました。自分の大切さとともに他の人の大切さを認めて思いやりのある温かいお友達関係を築けるといいです。



## 9月に「家庭防災会議」を開きましょう

毎年9月1日の防災の日を中心とし、8月30日から9月5日までを防災週間としています。学校では防災教育や防災対策の見直し・強化を行っています。家庭における防災対策はいかがでしょうか。自宅で災害に備えた対策をとっていますか。また、その情報は家族で共有されていますか。

災害が来てからでは遅いので、日頃から、災害が起きた時にどのように行動するかを家族で決めておきましょう。まずは、自宅の防災対策について家族で相談しながら総点検してみましよう。

### 安否確認

災害発生時、お互いの安否確認や連絡方法を決めていますか。災害は、家族が揃っているときに発生するとは限りません。自宅、学校、職場、出張先等、家族が離れ離れの状態で被災する可能性があります。

### 避難場所

災害発生時の避難場所を知っていますか。日頃から、自宅、学校、職場の近くや、通勤通学途中にあ

る避難場所を確認しておきましょう。町が発行しているハザードマップで危険箇所を確認することも有効です。

### 家具の配置と固定

家具類の転倒・落下は、直接当たって怪我をするだけでなく、つまずいて転ぶ、割れた食器やガラスを踏む、避難通路をふさぐなど、様々な危険をもたらします。「大地震では、家具は必ず倒れるもの」と考えて、日頃から家具の固定や配置の見直して、室内に安全空間をつくるようにしておきましょう。

### 防災用品の備え

水、電気、ガスなどのライフラインが停止した場合に備えて、自宅に水や食料、生活用品は備えておきたいものです。また、災害のために自宅周辺が危険と判断されると、急いで安全な場所への避難が必要になる場合もありますので、非常持ち出し品もリュックなどに詰めて準備しておきましょう。

### 外出時の携帯品

道を歩いているときや、エレベーターに乗っているときなど、自宅以外で災害に遭遇する可能性もあります。普段からバッグの中などに急場をしのげる防災グッズを携帯しましょう。自分の身元がわかるカード、自分の病名や処方薬を書いたメモや診察券、状況を把握するためのラジオ、閉じ込められたときのためのチョコレートなどの食料やハンカチなど、できるだけ負担にならずに携帯できるものがよいでしょう。バッグ等に入れっぱなしで気軽に持ち歩けることがポイントです。

## お知らせ

・学力向上担当の木村善子先生が7月31日をもって退職されました。大変お世話になりました。生井瑞葵先生が8月1日より勤務されています。木村善子先生のお仕事を引き継ぎます。よろしくお願ひします。